

tomica
LIMITED VINTAGE
NEO1/64
SCALE

三菱モータースポーツといえば『ラリーアート』！

大好評のランサーEボリューションIX MRに新仕様です

※写真は試作品です。実際の製品仕様とは異なる場合があります。

3月
予定LV-N349c 三菱 ランサー GSRエボリューション IX MR
ラリーアート仕様（赤）2006年式

●ここが見どころ●

- ①人気の第3世代ランサーEボリューションに新仕様
- ②ラリーアートのオプションパーツを再現
- ③カラーリングにも注目

1/64スケールダイキャスト製ミニカー
(塗装組立済)
オープンパッケージ

- パッケージサイズ:
W78mm × H42mm × D40mm、サック箱
- 原産地:中国
- 重量:約50g
- 版権元商品化許諾申請済

2001年に登場したランサーEボリューションVIIから続く第三世代、CT9A型の最終モデルがランサーEボリューションIX MR。2006年に発売されたエボリューションIX MRは、長年搭載されてきた名エンジン『4G63』型の最後を飾るモデルでもありました。

『MR』は往年のギャランGTOから受け継がれる高性能モデルの名称で、ランサーEボリューションとしては2004年のエボリューションVIII MRから採用されました。

エボリューションIX MRは、ターボチャージャーをより熟成、アクティブヨーコントロール(AYC)の容量アップなどフィーリング面での向上も多く、それまでのランサーEボリューションの集大成といえる一台です。

TLV-NEOでは、ランサーGSRエボリューションIX MRを2025年9月に製品化いたしましたが、今回は三菱のモータースポーツ・ブランドとして有名な『ラリーアート』パーツを装着した仕様を製品化いたします。

ノーマル車とは異なる形状のリップスポイラー・や小型のドアミラー、細いラインを組み合わせたカラーリングの再現にもご注目ください。ボディカラーは印象の強い赤としました。新たなヒストリックカーとして注目を集めている2000年代中頃の高性能車たちを、ぜひコレクションしてください。

【文責:トミーテック】

近くて遠い2000年代中頃の名車たち